

川崎区の役立つ福祉情報をお届け

ウエーブ

第118号
 令和6年5月

●川崎区社会福祉協議会

発行

川崎区社会福祉協議会
 川崎区富士見1-6-3読売川崎富士見ビル B-1 棟 6階
 電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741
 Email kawasakiku@csw-kawasaki.or.jp
 川崎区社協ホームページ <https://www.kawasakiku-shakyo.jp/>

区社協



[発行人]
 島田 潤二
 [編集人]
 編集委員会

目次

1. 令和6年度賛助会員の募集について
- 2.3. 各地区社協の事業案内
4. 令和6年度川崎区社会福祉協議会事業計画・予算
5. 子どもの食糧支援について
6. 令和5年度共同募金運動のご報告
福祉用具リサイクル
「譲ります・譲ってください」
ほほえみコーナー
7. ウェーブくんが行く!
身近な地域の障がい者施設・団体
8. チャレボラ2024開催のお知らせ
ウェーブ・いっぽ合併のお知らせ

紙面に関する
お問合せはこちらまで



より住みよいまちにしていけるために

令和6年度賛助会員募集

川崎区社会福祉協議会では、賛助会員を募集しています。賛助会員とは、本会の事業にご賛同いただき、資金面で社協の事業を支援して下さる会員の方のことで。

会員の皆様からいただく会費は、皆様がお住まいの地域の身近な福祉活動に役立てられており、地域の助け合い活動、子どもや高齢者、障害のある方、ボランティア活動の支援など、川崎区の福祉活動を支える貴重な財源となります。

会費は個人・団体共に1口1,000円からで、複数口の申込みも可能です。

私たちや地域の方と共に、川崎区をより住みよいまちにしていきたいと思います。

「地域のために何をしたらいいのかわからない…」 「仕事が忙しいけれど地域に貢献したい！」 というあなたのご協力を心よりお待ちしております。

賛助会費の使いみちについて

●区社協事業（一部抜粋）


災害ボランティアセンターの
広報・啓発



川崎区社協福祉まつりの開催

賛助会費の8割を地区社協、2割を区社協事業で活用させていただいております。

●地区社協事業（一部抜粋）

- ・広報紙発行
- ・地域福祉懇談会の開催
- ・ふれあい会食会の実施 等



じゃあ自分が住んでいる地域ではどんな活動をしているのかな？

現会員の皆様には、地域の方が今年度の協力依頼にお伺いいたします（お住まいの地域により時期が異なります）。これから会員になってくださる方は川崎区社会福祉協議会までお気軽にご連絡ください。

川崎区社会福祉協議会（☎044-246-5500）

各地区社協の事業については2.3面でご紹介していますので、そちらも併せてご覧ください！



各地区社協の事業案内

中央第一地区社会福祉協議会

事業内容

●福祉学習へ協力

近隣の小学校で行われている車いす体験等の福祉学習において、子どもたちが安全に体験を実施することができるよう見守りやサポートを行っています。

地域の子どもたちに顔を覚えてもらえる機会にもなり、町の中で元気にあいさつを交わしながら、いっしょに福祉のまちづくりを行っています。



大師第四地区社会福祉協議会

●子どもの食糧支援

大師小・東門前小・大師中を対象とし、希望のあった方向けに食糧配布を行っています。毎回多くの申し込みをいただいている地域で暮らす子どもたちとの交流の場となり、穏やかな雰囲気での配布ができ、心なほなほの時間となっています。顔を覚えてもらい、いっしょに元気に暮らしていけるようなまちづくりを行っています。

中央第二地区社会福祉協議会

事業内容

●認知症予防カフェ「くるみクラブ」

認知症予防を目的として、講演会や体力づくりのための運動、頭の体操等の活動を行っています。実施日は毎月第3火曜日で、月ごとに順番に町内会館を回って開催しています。実施場所の地域にお住まいの方はもちろん、他の地域の方もお越しになり、毎回温かな交流が生まれています。



渡田地区社会福祉協議会

事業内容

●ミニデイサービス「ほのぼの会」の開催

毎月第2金曜日に地域のお年寄りのいこいの場として、「ほのぼの会」を開催しています。地域包括支援センター等とも連携しながら、ゲームや歌唱、ポッチャなどを行っています。

令和6年3月には300回目の開催を迎え、これからも末永く皆さんと和気あいあいとした時間を過ごしていきたいです。



小田地区社会福祉協議会

事業内容

●男の料理教室

男性の地域活動への第一歩として、男の料理教室を開催しています。

調理をしながら、会話を楽しみ、力を合わせて作ったカレー等はとてもおいしいです。試食の際には、お互いを労いながら、和やかな交流が生まれており、これからもご近所同士のつながり作りのきっかけとして、開催を続けていきたいと思っております。



大島地区社会福祉協議会

●地域福祉講演会

地域の皆様の関心事について講演会を開催しています。令和5年度は12月7日(木)大島3丁目町内会館にて実施いたしました。講師を2人お招きし「带状疱疹の予防について」「子どもの食糧支援について」の講演をしていただきました。

質問や意見が飛び交う活発な雰囲気での講演会となりました。



区内の10の地区社協が行っている事業の一部を紹介します。
これらの事業には、皆様からいただいた
賛助会費が使われています。



福祉協議会

事業内容



して、ご
っていま
います。
の機会と
心温まる
、地域
づくりを行っていきます。

大師第三地区社会福祉協議会

事業内容

●ほほえみ元気体操

毎月第3金曜日（7・8月除く）に「ほほえみ元気体操」を行っています。ほほえみ元気体操後には、ラジオ体操第1・第2も行い、皆さん気持ちよさそうに身体を動かされています。オレンジ色ののぼりが目印です。今後も近隣住民が気軽に参加できる場づくりを行っています。



大師第二地区社会福祉協議会

事業内容

●生き生き茶防

地区内の4町内会をまわり、認知症予防カフェとして「生き生き茶防」を開催しています。健康増進のための脳トレや、体操などを行っています。近隣に住む方々とのいこいの場ともなっており、皆さんが毎回楽しそうに参加されている姿が印象的です。



大師第一地区社会福祉協議会

事業内容

●高齢者お茶のみサロン

「高齢者や子どもの居場所づくり」をテーマとして、高齢者お茶のみサロンを実施しています。

地域のご高齢の方々が楽しく笑いながらお仲間を増やしていただけるよう体操や作品作りを各町会の公民館で順番に開催しています。



協議会

事業内容



を開催し
(木)に大
た。今回
方・対応
」の講

が、知識を深める場となっています。

田島地区社会福祉協議会

事業内容

●福祉の集い

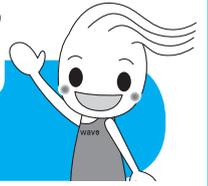
地域のみなさまの交流の場・外出の機会として開催しています。

焼きそば、フランクフルト等の屋台や健康相談、スタンプラリー等、たくさんの出店があります。ステージでは、太鼓、踊り、ヒーローショー、バンドや吹奏楽団による演奏等の出し物で大賑わいの1日となっております。



令和6年(2024)度事業計画

川崎市川崎区社会福祉協議会



重点事業

1 地区社協活動の支援・援助

地区社会福祉協議会が展開する見守り活動・居場所づくり活動の支援を通じて、福祉を取り巻く環境の複雑化、多様化に対応した、新たな支えあい活動についても考え、身近な福祉活動の推進を図ります。

2 総合相談支援事業

「困っている人に気付き、寄り添える。」「多様性を尊重し、互いに認め合う」「誰かの困りごとを自分のこととして共感し、行動に移せる」と言った視点で、一人ひとりに寄り添います。日頃からの地域における顔の見える関係づくりをすることで、横断的な相談対応体制の構築により地域課題・生活課題に対応します。

3 現在・未来の地域の人財づくり

地域において「担い手の不足」が課題となっています。担い手の不足は、様々な地域活動の継続性にも影響があることです。特効薬はありませんが、次世代の福祉のまちづくりを担える人材の育成、地域における理解者づくりといった福祉教育的な取組や助成金を利用したボランティアグループの育成・援助、ボランティア情報の収集や提供により、地域のボランティア活動を支援をすることで多面的に人財づくりを目指します。

令和6年度予算

収入

その他利息
98千円

市社協からの繰入金
47,364千円

事業費収入 330千円

繰越金 12,930千円

会費 1,359千円

賛助会費 6,426千円

寄附金 870千円

共同募金 15,221千円

補助金収入 24,186千円

収入計
108,784
千円

支出

共同募金配分金事業
15,158千円

地域福祉・在宅福祉・
調査研究・連絡調整事業
2,107千円

助成・金品事業
12,802千円

企画広報事業
2,187千円

受託事業
(いこいの家・あんしんセンター・
生活福祉資金)
16,689千円

区支部運営事業
59,841千円

支出計
108,784
千円

子どもの食糧支援 食糧でつなぐか輪さき区



お問い合わせ
川崎市川崎区社会福祉協議会
TEL:044-246-5500

川崎区社会福祉協議会では、令和2年3月からたじま家庭支援センターやふれあい館、行政などの関係機関と連携し、ネグレクトや生活困窮により満足に食事のとれていない、とれているかが不安なご家庭のお子さんに対して、食糧支援を行っています。

いただいた食糧は、関係機関を通じて、個別家庭への支援として役立てられたり、地域のボランティアさんが行っている子ども食堂や地域の子どもと大人が出会い・交流をする場として行われている『みんなのごはん』、『おにぎりキャラバン』等で活用させていただいております。

引き続き食糧の寄付も募集しております。困ったときはお互いさまの気持ち、お家で余っている食糧を活かしたフードロスやSDGsの取り組みとして、あなたも協力の輪に加わっていただけませんか。

取組の詳細については、ホームページにて紹介しています。



区社協
ホームページ



食糧支援へのご協力ありがとうございます

川崎区内外を通じて、さまざまな形で食糧支援の取り組みに関わってくださっている方たちがいます。食糧の寄付やいただいた食糧の保管・管理、支援先への運搬などを地域の数多くの企業や社会福祉施設、団体、個人にお手伝いいただき、食糧支援を継続していくことができました。

今後も本取り組みにご賛同いただける方や支え、輪に加わっていただける方が増えることを願っています。

※令和5年4月～令和6年3月までにご協力いただいた方・団体等を掲載しています（順不同）

企業・地域団体

- ・神奈川東部ヤクルト販売株式会社
- ・日本ゼオン株式会社
- ・JA セレサ川崎女性部川崎南支部
- ・川崎ライオンズクラブ
- ・株式会社 丸若
- ・中央第1地区民生委員児童委員協議会
- ・中央第2地区民生委員児童委員協議会
- ・サンスクエア川崎自治会
- ・NPO 法人ファンズアスリートクラブ
- ・京急キッズランド京急川崎保育園
- ・京急キッズランド港町駅前保育園
- ・あすいく保育園

社会福祉施設

- ・セイワ 介護老人福祉施設 桜寿園
- ・社会福祉事業団 南部身体障害者福祉会館
- ・かわさき地域生活支援拠点たじま
- ・馬島福祉会 特別養護老人ホーム大師の里
- ・馬島福祉会 特別養護老人ホーム恒春園
- ・育桜福祉会 ゆずりは園

個人

- ・伊藤 久子 様
- ・平川 悦子 様
- ・田辺 ヒデ子 様
- ・工藤 美雪 様
- ・鈴木 恵枝 様
- ・池間 一仁 様
- ・松末 則道 様
- ・松嶋 邦生 様



食糧のご寄付を通じてSDGsに取り組んでみませんか？

ご家庭にある“買い過ぎてしまった”いただき物で食べきれない”食糧などの寄付を引き続き募集しています。

●注意点

- ・未開封のもので、消費期限が**1か月半以上**残っている物をお願いいたします。
- ・冷蔵・冷凍保存が難しいため、**生鮮食品はお控えください。**

●いただけると嬉しい物

- ・**精米、レトルトご飯**
- ・レトルト食品（カレー・牛丼・中華丼・親子丼など）
- ・麺類（ラーメン・そうめん・そば・うどん・パスタなど）
- ・インスタント食品（カップラーメン・カップやきそばなど）
- ・スープ（お味噌汁・コーンスープなど）
- ・缶詰（ツナ缶・やきとり缶・つくね缶など）
- ・離乳食、粉ミルク
- ・お菓子

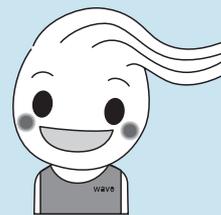


まずは食糧支援の話聞いてみたい、どんなことで協力できるか知りたい・考えたい！
そんな方はぜひお気軽にお電話ください。044-246-5500

令和5年度共同募金運動のご報告

今年度も10月1日から3月31日まで共同募金運動を実施いたしました。半年に渡る期間、多くの皆様から様々なかたちでのご協力をいただきました。

皆様からお寄せいただいた寄付金は、神奈川県内および川崎区の地域福祉活動のために大切に使用させていただきます。あたたかなご支援をいただき、誠にありがとうございました。



共同募金実績額 **14,298,665円** (令和6年2月15日現在)

ご協力いただいた募金はこのように活用させていただいています

令和5年度 ボランティア講座



令和6年1月25日(木) 殿町老人いこいの家にて、ボランティアに興味のある方を対象としてボランティア講座を開催し、講師1名と事例発表者2名をお招きして、講演と地域活動の事例紹介をしていただきました。

当日は地域の方20名が参加され、すでに活動をしたことがある方、これから活動をしたいと考えている方が共に知識を深められていました。

「(ボランティアの) 基本的な考え方、向かい方を知る事が出来た」「なかなか仕事と両立できませんがなるべく参加したいと思います」とのご感想もいただきました。

この他にも、

●広報紙発行 ●地区社協活動費の補助 ●会食・配食・ミニデイケア団体活動費助成 ●子育て支援団体の活動費助成等で活用させていただいております。

お知らせ

(福祉用具リサイクル事業)



ポータブルトイレ (A-123)

譲ります・譲ってください

川崎区内にお住まいの方々に、車いす、シルバーカー(手押し車)、介護用ベッド、歩行器等の福祉用具を譲りたい方と譲って欲しい方との間で無料でご紹介をしています。

現在譲りたい方から、ポータブルトイレ1台の登録があります。

本会ホームページに掲載する福祉用具を募集しています。福祉用具を譲りたい、譲って欲しい方は川崎区社会福祉協議会までご連絡ください。

※リサイクルできるものは、安全かつ衛生上問題なく、修理を必要としないものに限りです。



ほほえみコーナー

ご寄付をいただきました。誠にありがとうございます。

セレサ川崎農業協同組合様 大本山 川崎大師 平間寺様

第2回

ウオーブくんが
行く

身近な地域の障がい者施設・団体

川崎区内の障がい者施設・団体による活動を皆様にお伝えすべく、今回も取材へ行ってまいりました！
第2回目は「地域活動支援センター糸ぐるま」です！

今回の取材は編集委員1名、
事務局1名で行いました！



「地域活動支援センター糸ぐるま」について



- 代表：西森 猛
- 設立：平成14年4月 障がい者地域作業所として設立
平成20年4月 地域活動支援センターもくれん
工房大島として運営開始、その後平成23年4月
に「糸ぐるま」に名称変更
- 利用者：18名（男性：7名、女性：11名）
主に身体・知的・精神等様々な障がいを抱えた方
が通所しています。
- 職員：4名

代表 西森さん、施設長 安藤さんに伺いました！

「糸ぐるま」への思い

糸ぐるまは利用者を楽しめる場所でありたいです。仕事がきつなくても、楽しみがあれば頑張れると思うんです。そのためにレクリエーションを行ったり、施設としてスポーツに積極的に参加したりしています。レクの企画は利用者で構成されたレク部が中心となり、話し合いを行っているんですよ。これは障がい者として社会参加をしていくためにやっている取り組みでもあります。

また、利用者の集いを月1回開催しています。そこには職員が参加しません。お互いに思っていることを話し、確認する場です。みんなで話し合うことで「自分たちの糸ぐるまなんだ！」と思ってもらい、自立性や自発性を高めています。自分たちがつくっているという自覚を持つことが、いつか社会に出た時に必要になると思っています。

日常の仕事をしていても、お互いを見る目を持つことを大事にしています。それぞれが異なる障がいを持ち、みんな同じ状況ではないからこそ、お互いを知ることが助け合いに通じると思うからです。

元々、中途障がいの方を対象として始まった施設なんです。バリバリと仕事をしていて何らかの理由で障がいを抱えるようになった方の中には、なかなか障がいを受け止めきれない人もいます。そのような方が作業所で仕事することで、自分でもお金を稼げるんだ！と感じてもらいたい。

みんなの居場所はここにあり、ここにいてもいいと思ってもらいたいです。

活動内容

軽作業

5つの企業から業務を受託しています。
仕事内容は利用者の方の身体状況に応じて割り振られています。

- ・シャープペンシルの芯やバネ入れ
- ・袋や容器へのシール、ラベルの貼り付け
- ・釣り用具の組み立て
- ・キットパスの持ち手包み 等

コロナ禍前までは主に手作りビーズ製品の製作・販売を行っていました。
また、施設外就労として、月1回工場に出向き食品廃棄物の分別作業も
行っています。



袋へのシール貼り付け



入れ物へのラベル貼り付け



釣り用具の組み立て



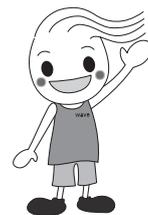
キットパスの持ち手包み

取材
後記

施設や利用者の方への思いを
真剣に、そして楽しそうにお話され
るお2人の姿が印象的でした。

レクリエーションやスポーツを通して
交流を図ることが仕事のモチベーションを
保つことに繋がっているとお話の際には、
西森さんがつい「次の楽しみは何？」と
聞いてしまうというエピソードもありました。

自主的な行動が出来る力を養い助け合い
を大切にしている糸ぐるまは、
仕事場であると同時に、利
用者の方が社会に繋がるた
めの架け橋の役割も果たし
ているのだと感じるインタ
ビューでした。



取材先 地域活動支援センター 糸ぐるま
所在地：川崎区大島 1-3-6 M レジデンス 1階
Tel/Fax：044-222-0669

チャレボラ2024開催します！

今年はチャレボラに参加しよう！受講生を募集します！

さまざまなプログラムを用意しています。自分が興味のあるプログラムを選んでボランティアを体験しよう！

川崎区では、特別養護老人ホームでのボランティア体験や子どもたちと一緒にカレー作り、こども文化センターでのボランティア体験などを予定しています。

良い経験になること間違いなしです！ボランティアとしての一歩を踏み出すために、ぜひチャレボラに参加してみませんか？皆様のご参加お待ちしております。

* 川崎区で予定しているプログラム *

- ① 広げよう認知症サポーターの輪 ◎ 特別養護老人ホームでのボランティア体験
- ② こども食堂でボランティア！カレーを作って子どもたちと一緒に遊ぼう♪
- ③ 高齢者ミニデイサービスでのボランティア体験
- ④ おにぎりキャラバン にぎにぎおいしくボランティア体験
- ⑤ こども文化センターで子どもたちと一緒に遊ぼう！（他）

▼対象

川崎市内在住・在学の学生（小学生～大学生）

▼申込締切

6月16日(日)

※詳細は、各学校を通して5～6月に配布されるチラシまたは本会ホームページ等をご覧ください。



区社協ホームページ



高齢者ミニデイサービスでのボランティア体験



おにぎりキャラバン
にぎにぎおいしくボランティア体験



こども食堂でボランティア！
カレーを作って子どもたちと一緒に遊ぼう♪

ボランティア
募集情報、
お待ちしております！



「ウェブ」と「いっぽ」が合体します！

コロナ禍で発行を休止していた「ボランティア情報紙いっぽ」が次号以降、ウェブの8面に帰ってきます！

「ボランティア情報紙いっぽ」はボランティアの啓発に向け、川崎区のボランティア活動をさらに盛り上げていけるような記事を掲載していけたらと考えています。川崎区ボランティアセンターでのイベント・講座情報など、掲載していく予定です。

また、本会ホームページに掲載するボランティア情報も募集しています。「こんなボランティアさんに来てほしい」、「一緒に活動するボランティアメンバーを探している」など、個人や団体の情報がありましたら、ぜひお気軽に本会までご連絡ください！